

令和元年10月台風19号による 浸水被害について

令和2年4月17日

栃木県 県土整備部
河川課

1. 令和元年10月豪雨(台風19号)の出水概要

- 近傍の雨量観測所では、24時間雨量で325.5mm、6時間雨量で213.6mmを観測(図1参照)
既往最大値を更新し、概ね150年~200年に1回の確率で起こりうる洪水となった(図2参照)
- 東橋水位観測所では、田川の水位は堤防高を超え、宇都宮市街地で溢水氾濫が発生(図3参照)

<降雨状況>

宇都宮(気)

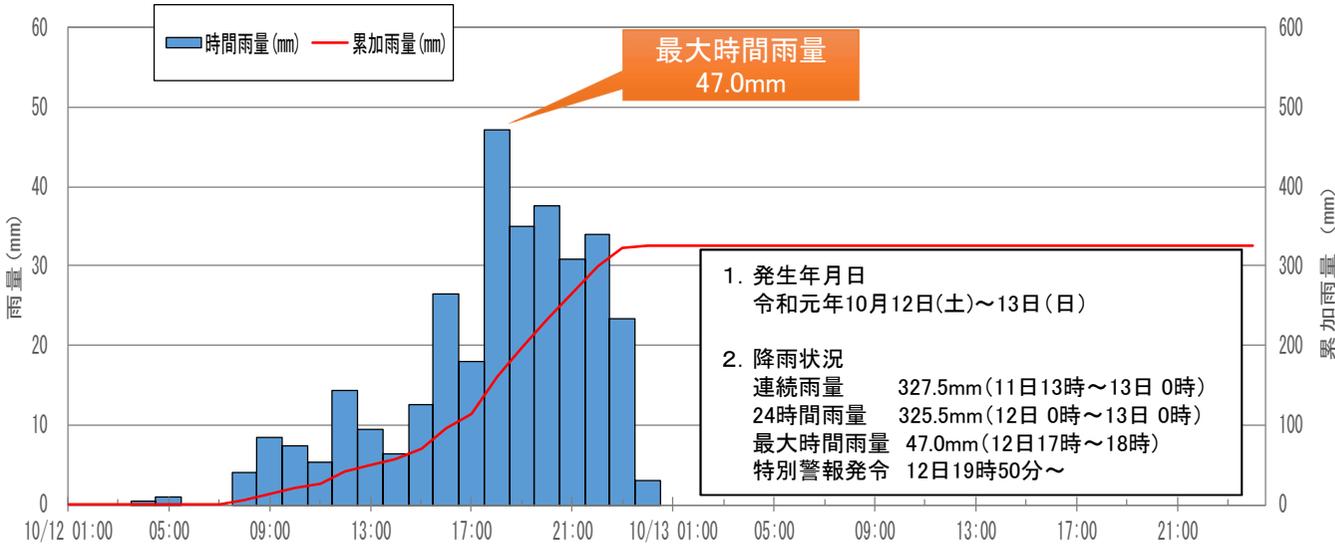


図1 宇都宮(気)の雨量

<水位状況>

観測局(県)東橋

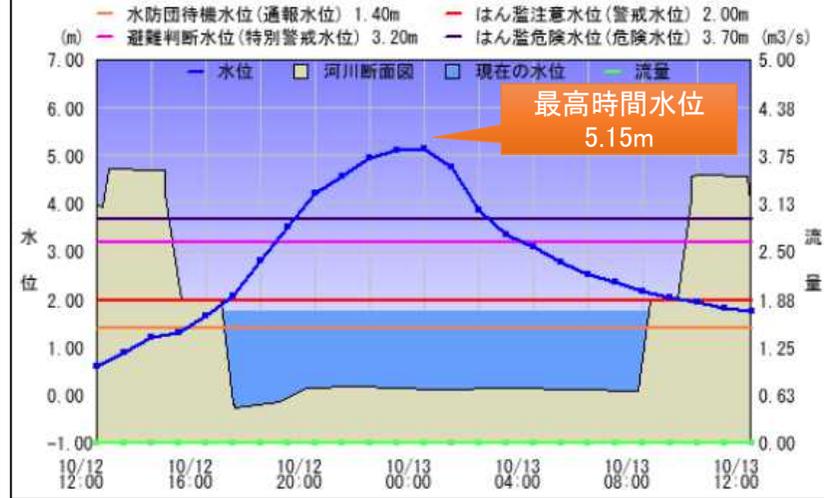


図3 東橋水位観測所における水位ハイドログラフ

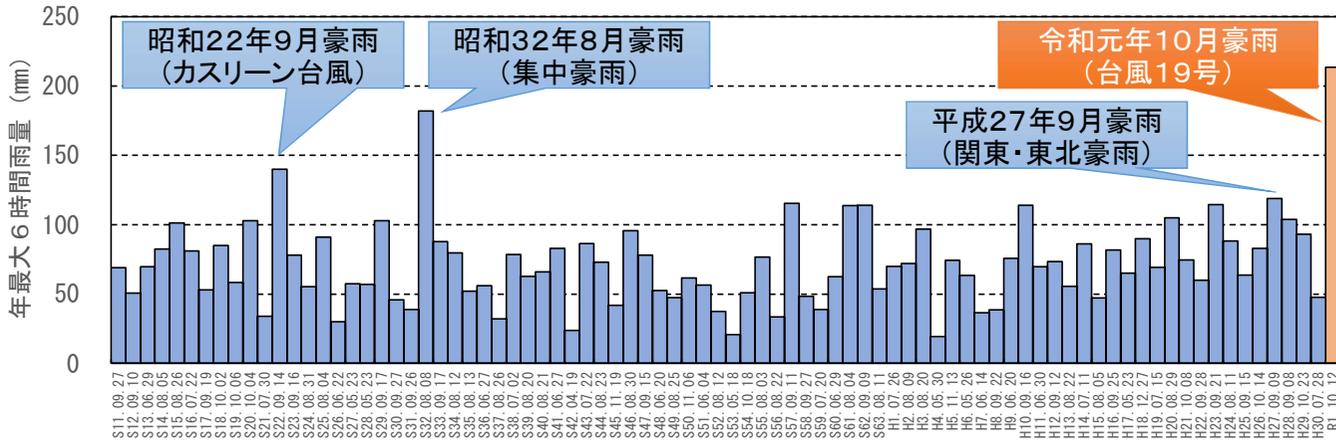


図2 田川流域における年最大雨量の推移(流域平均6時間雨量)



図4 東橋水位観測所位置図

2. 令和元年10月豪雨(台風19号)による被災概要

- ・田川からの溢水による氾濫は宇都宮駅前の市街地を中心に広範囲に及んだ(図5参照)
- ・浸水面積約150ha、浸水家屋2,396戸(床上:1,093戸、床下:1,303戸)の浸水被害が発生
- ・宇都宮記念病院などの重要施設や特養いずみ苑など多数の福祉施設が浸水(表1参照)

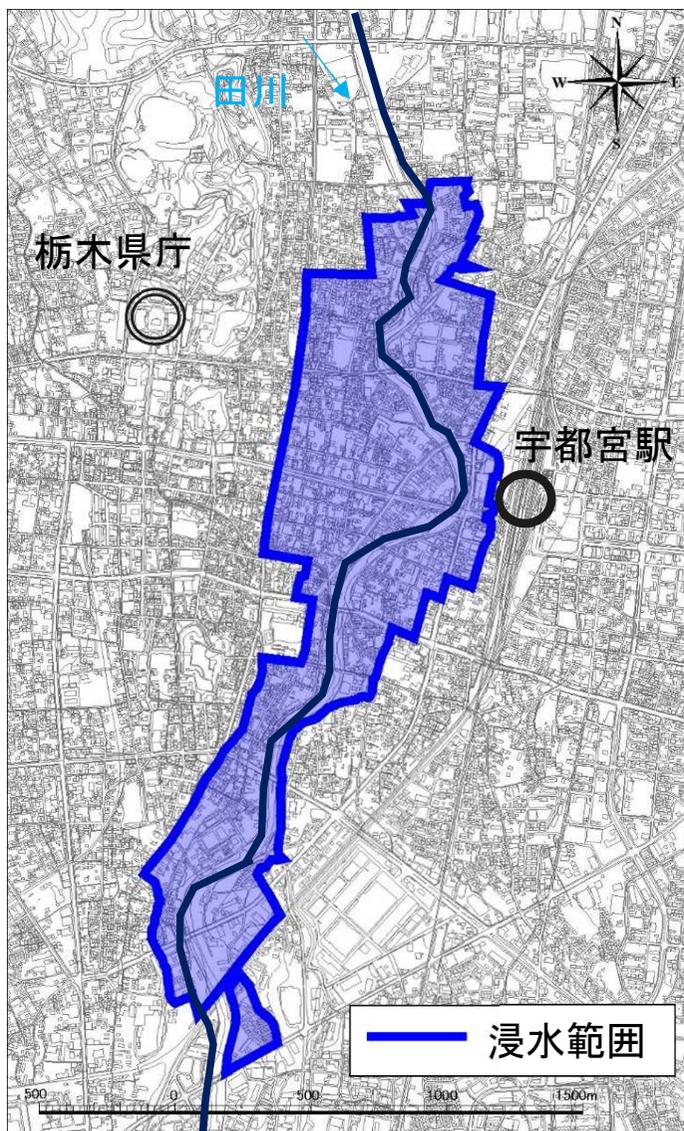


表1 浸水した重要施設

分類	名称	備考
公共施設	宇都宮市上下水道局 下河原水再生センター	
避難施設	東小学校	
医療施設	宇都宮記念病院	透析施設 有り
	奥田クリニック	
	新宇都宮医院	
福祉施設	介護施設多数	



図5 台風19号による浸水実績図

洪水後に堆積した土砂、水害ゴミ